

事務事業評価の評価結果について（平成28年度の事業に対する評価）

一志総合支所

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成28年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成29年度以降の事業の方向性	所見
一志・地域振興課	地域ががやきプログラム事業	中部エリアでは、温泉、農業等の中部エリアの地域資源を磨き上げて観光資源として活用するとともに、農業の高付加価値化により地域を活性化し、さらに地域のふれあい、交流を促進して地域力を養うために、みのりとぬくもりの郷づくりを目指します。 一志地域では、温泉利用客のための温泉ゾーン魅力アップ事業や、人と自然の共生を考えた活動に取り組みます。	事業数	地域活性化の為、事業実施が必要となるため、実施事業数を成果指標とします。	5事業	5事業		地域活性化に寄与する取組については実施計画通り行われました。今後、新たな取組を実施していくことが地域振興につながっていくと考えます。	4	旧町から継続してきた事業で、地域の協力もあり達成できている。5事業を実施し、地域の活性化に寄与できました。今後も、魅力ある事業展開を検討していきたいと考えています。	現状維持	一志町の時代から引き継がれてきた事業であり、地域の活性化のためにも継続していく必要があります。
一志・地域振興課	地域インフラ維持事業	課題等の対応に向けた初動として、すぐに「できるもの」と「できないもの」を整理し、まず市民や地域にその対応の方向性を示すと同時に、できることから迅速かつ着実に取り組む。	予算執行率	取り組み状況の目安として、予算執行率を成果指標とします。	100%	100%		目標を達成することができた。	3	要望に対し概ね早い対応ができており、好評をいただいている。住民満足度の向上に大きく寄与すると思われる。	拡充・充実	出された要望に対し、全てに答えきれていないため、増枠し充実を図りたい。
一志・地域振興課	地域インフラ補修事業	課題等の対応に向けた初動として、すぐに「できるもの」と「できないもの」を整理し、まず市民や地域にその対応の方向性を示すと同時に、できることから迅速かつ着実に取り組む。	予算執行率	取り組み状況の目安として、予算執行率を成果指標とします。	100%	99%		目標をほぼ達成することができた。	3	要望に対し概ね早い対応ができており、好評をいただいている。住民満足度の向上に大きく寄与すると思われる。	拡充・充実	出された要望に対し、全てに答えきれていないため、増枠し充実を図りたい。
一志・地域振興課	地域情報発信事業	一志地域の身近な情報を中心に、定期的に地域内全世帯を対象に、地域だよりを発行配布し情報発信していく。	地域だよりの発行回数	地域の情報を発信する地域だよりの発行回数を指標とします。	4回	4回		年4回の発行し、目標は達成しているため現状維持	3	一志地域の身近な出来事を掲載することにより、様々な活動、イベント開催の情報発信できた。掲載内容をさらに充実させる。	拡充・充実	掲載内容をさらに充実していきます。
一志・地域振興課	とことめの里一志管理運営事業	地域住民の健康保持及び保険意識の向上並びに福祉の増進、教育文化の充実を図ります。	施設の利用人数	地域の人々が交流とやすらぎの場として幅広く利用いただくため利用人数を指標とします。	460,000人	436,952人		実績値で前年比10%増でした。	3	保健福祉・文化・交流の活動拠点として広く利用されていますが、温泉部分の利用者は減少傾向にあります。 当施設は築後20年弱が経過しているため、年次修繕計画に沿って環境整備を進めます。また、管理運営保保については、当該修繕計画に基づいた対応後の指定管理のみならず温泉部門のみの業務委託も踏まえた検討をしていきます。	拡充・充実	年次修繕計画に沿って環境整備を進めます。また、管理運営方法については、当該修繕計画に基づいた対応後の指定管理のみならず温泉部門のみの業務委託も踏まえた検討をしていきます。
一志・地域振興課	やすらぎの湯管理運営事業	地域住民の健康保持及び保健意識の向上並びに福祉の増進、教育文化の充実を図ります。	施設の利用人数	地域の人々が交流とやすらぎの場として幅広く利用いただくため利用人数を指標とします。	345,000人	332,118人		三重県の企画への協力、雑誌等への掲載、クーポン券やスタンプカードの発行などを行い、施設のPR、利用促進に努めました。	3	源泉設備の故障による臨時休館のあった前年度に比べて増加したものの、利用者数は依然として減少傾向にあります。施設が築後20年弱経過していることから、年次修繕計画に沿った環境整備を進め、新規利用者の獲得につながるサービスの改善・充実に努めます。	拡充・充実	温泉利用料金の改定や歳出の削減、またレストハウスのメニュー見直しによる収益性の向上などの経営改善を進め、併せてサービスの改善・充実に努めることで利用者の増加につなげたいと思います。

一志総合支所

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成28年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成29年度以降の事業の方向性	所見
一志・地域振興課	行財政改革関係事業	一志地域唯一の野球場として、健康増進・地域間交流・人々のふれ合い・憩いの場として利用していただいている。また、合併以後は一志地域以外の利用者も多く、今後一層の増加も見込まれることから、利用しやすい環境を維持できるよう利用者へのサービス提供を怠らず、地域の活性化に繋げていけるよう努めていく。	経営型の行政運営の推進	行財政改革の推進及び組織風土改革の推進による経営型の行政運営が庁内に浸透し、推進が図られるようにより、住民本位の行政サービスを簡素で効率的な行政運営により実現することで、バランスのとれた行政経営の展開を図ります。	3,000人	2,090人	アマチュアの野球人口の減少が実感される中、施設環境を充実させることで、少しでも利用者を増加させたい。	野球人口が減少する中、大きな大会は中央の大きな野球場で開催されるようになり、利用者の減少に歯止めがかからない。設備・サービスを充実させ、少しでも利用者を増加させたい。	3	施設管理においては、農村地域に位置する事から、施設周辺の草刈や水路の清浄化に配慮した。グラウンド内の整備については、こまめに行い、不陸整正に時間を費やした。1人勤務による窓口の不在や電話の対応、さらに駐車場不足による路上駐車への対応に苦慮するなど、市民サービスに関する点で課題も見えた。	現状維持	概ね施設管理については、目的を遂行しているため、今後も市民サービスに重点を置き、運営していく。
一志・地域振興課	行財政改革関係事業	一志地域唯一のテニスコートとして、健康増進・地域間交流・人々のふれ合い・憩いの場として利用していただいている。中体連等の大会も行われるため、必要不可欠な施設として位置づけられる。また、合併以後は一志地域以外の利用者も多く、利用しやすい環境を維持しつつ利用者へのサービス提供を怠らず、地域の活性化に繋げていけるよう努めていく。	利用人数	行財政改革の推進及び組織風土改革の推進による経営型の行政運営が庁内に浸透し、推進が図られるようにより、住民本位の行政サービスを簡素で効率的な行政運営により実現することで、バランスのとれた行政経営の展開を図ります。	10,000人	10,750人	老朽化が進む施設の維持に励み、利用者を増加させたい。	利用者数はほぼ横ばいとなったが、目標を達成できたので、照明設備の改修等の懸案事項に対応し、更なる利用者の増加につなげたい。	3	施設管理においては、農村地域に位置する事から、施設周辺の草刈や水路の清浄化に配慮した。グラウンド内の整備については、こまめに行い、不陸整正に時間を費やした。多人数来場時の駐車場不足の問題や、1人勤務による窓口の不在や電話の対応に苦慮するなどの、市民サービスに関する点で課題も見えた。	現状維持	改善が難しい駐車場不測の問題を抱えるが、施設とサービスの充実をはかり、利用者の満足度を高めていく必要がある。
一志・地域振興課	会館、市民センター管理運営事業	一志地域の4地区集会所については、地域住民のため、地域社会の環境改善及び地域振興を図り、住民の福祉をする目的で設置されている。	利用人数	4施設の利用人数を指標設定しました。	5,000人	3,057人		各事業の減少と参加者数の減少に伴い、目標を下回っている。	4	利用人数は減少傾向であるが、地域活動の拠点として必要な施設であり効率的に利用されています。	現状維持	利用人数は減少傾向であるが、地域活動の拠点として必要な施設であり効率的に利用されています。
一志・地域振興課	観光施設維持管理事業	住民の憩いの場及び青少年の野外活動の場の提供をするために、矢頭登山道の整備と矢頭中宮キャンプ場の維持管理を行います。	施設利用者数	利用者数を増やすため、広報津やホームページ等でPRし、集客のつなげる。	800人	612人		団体客の利用により人数は大きく変動する。	3	利用者が増となるよう、更なる当施設のPRが必要である。	現状維持	自然豊かな環境であり、毎年夏利用する固定客もあり現状維持として運営していきたい。
一志・地域振興課	出張所管理運営事業	高齢化率が高い地域であり、地域に密着した窓口業務を目指します。	市民サービスの窓口として充実させていく	市民サービスの充実を指標に設定します。			戸籍、住民基本台帳関係の交付事務、矢頭キャンプ場の利用受付を行い市民生活の利便性を向上させます。	地域に密着した窓口業務を目指し、市民生活の利便性の、より一層の向上を心掛けました。	4	高齢化率も高く、一志総合支所からも離れているため、市民サービスの窓口として戸籍・住民基本台帳等の交付事務等をおこない、市民生活の利便性に供していきたい。	現状維持	高齢化率も高く、一志総合支所からも離れているため、市民サービスの窓口として戸籍・住民基本台帳等の交付事務等をおこない、市民生活の利便性に供していきたい。
一志・地域振興課	行財政改革関係事業	一志地域の中心部に位置し、当該地域のスポーツ施設の中核を担う公共施設として、健康増進・地域間交流・人々のふれ合い・憩いの場として利用していただいている。また、合併以後は一志地域以外の利用者も多く、今後一層の増加も見込まれることから、利用しやすい環境を維持できるよう利用者へのサービス提供を怠らず、地域の活性化に繋げていけるよう努めていく。	利用人数	市民の健康づくりや競技力の向上のため津市一志体育館の利用人数を指標とする	23,000人	25,863人	利用者の満足度を測るのは難しいので、利用人数を指標とする。老朽化した施設を充実した状態に保てるように、随時改修をしながら利用者の満足度が高い施設を目指したい。	カーテンの不具合・雨漏り等を改修することで、工事期間中利用を停止したリスク以上の効用があり、利用者を増加させることができた。今後も更なる設備の充実を図り、利用者増加に向けて努力していきたい。	4	施設管理においては、清潔で心地よい空間を利用者に提供できるよう、清掃に関して徹底して管理を行った。また、スポーツ施設のため施設利用のルールやマナーを遵守していただくよう掲示による注意喚起を充分に行い、施設の安全な管理運営に努めることが出来た。	現状維持	概ね施設管理については、目的を遂行しているため、今後も市民サービスに重点を置き、運営していく。